

※諸般の事情により、講師やプログラム内容・時間・順序等が変更になることがあります。

1. 基本情報

1) プログラム名 :	大学生・大学院生向け国際協力実務講座
2) 担当者名 :	八星 真里子
3) 期間 (日数) :	2025年8月25日 (月) ~8月29日 (金) 5日間
4) 定員 :	30名程度
5) 言語 :	日本語
6) 主な対象学生 :	国際協力について関心があり、将来、開発途上国の援助に従事したいと希望する大学生・大学院生 専門分野は特に問わない。

2. コンテンツ

本プログラムの目的	国際協力実務経験者からの講義、国際協力や社会課題解決に深く関連したワークショップ等を通じて、以下の目的・期待を達成することを目指しています。 ●受講時の目的：受講者が、国際協力を深く理解し、国際社会の課題に主体的に向き合い、ステークホルダーと対等なパートナーシップの下で取り組む意識を獲得すること ●受講後の期待：受講者が、将来的に国際協力の担い手やグローバル人材として、持続可能な社会の構築に貢献すること
-----------	---

3. 日程表

1日目：2025年8月25日 (月)

オンライン (希望者は対面出席可)

場所	時間	テーマ	講師等	ねらい
オンライン	10:00-11:00	主催者挨拶 オリエンテーション	JICA筑波 ジールエム・インスティ チュート (GLMi)	●プログラムの目的・流れを理解する ●参加者の緊張を和らげる ●参加者が互いの背景や関心を把握する
	11:00-12:00	世界の課題とSDGs (途中 休憩10分)	JICA筑波	●国際社会で取り組むべき課題は幅広く複雑に関連し合うことを理解する ●SDGsについて理解する ●現在における持続可能な社会の構築やSDGs達成への寄与の重要性を理解する
	12:00-13:00	昼休憩		
	13:00-14:20	日本のODAとJICAの事業 (途中 休憩10分)	JICA筑波	●日本のODAの目的や仕組みを理解する ●JICAの事業・プロジェクトの流れを理解する
	14:20-14:40	休憩		
	14:40-16:00	JICA職員の仕事	JICA在外事務所所員	JICAの計画・立案や調整を担う職員がどのような仕事をしているのかを知る

2日目：2025年8月26日 (火)

オンライン (希望者は対面出席可)

場所	時間	テーマ	講師等	ねらい
オンライン	10:00-10:30	前日の振り返り・シェアリング	GLMi	獲得した知識などを整理し、新たな学びに備える
	10:30-11:20	多様な国際協力アクター	JICA本部	●NGO・個人等の市民社会や民間企業も国際協力に取り組む重要なアクターであることを理解する ●JICAがあらゆるアクターとの連携を構築し、発展させていることとその有効性を理解する ●国際協力でのキャリア形成を知る
	11:20-11:30	休憩		
	11:30-13:00	NGOの現場から学ぶ課題解決のアプローチ	国際協力NGO	特定のNGOのプロジェクトが何を指し、どのようなアプローチで課題を解決し、日々どのような仕事をしているのかを知る
	13:00-14:00	昼休憩		
	14:00-14:20	JICA×NGOの取り組み	JICA筑波	JICAのNGO等への活動支援や草の根技術協力事業の目的・特徴等を知る
	14:20-14:40	休憩		
	14:40-16:10	開発コンサルタントの仕事	開発コンサルタント企業	特定のJICAプロジェクトが何を指し、どのようなアプローチで課題を解決し、日々どのような仕事をしているのかを知る

場所	時間	テーマ	講師等	ねらい
オンライン	10:30-11:00	前日の振り返り・シェアリング	GLMi	獲得した知識などを整理し、新たな学びに備える
	11:00-12:00	「共創」のちからを育むJICAの本邦研修	JICA筑波	●JICA本邦研修の概要を知る ●特定の研修コースが何を指し、どのような活動を行い、どのような内容を学んでいるのかを知る
	12:00-13:00	昼休憩		
	13:00-13:20	JICA×民間企業の取り組み	JICA筑波	JICA民間連携事業の目的・特徴等を知る
	13:20-14:20	民間連携事業の事例から学ぶ「Win-Win」の関係構築	民間企業	特定の民間連携事業が何を指し、どのように製品・サービスを活用し、日々どのような仕事をしているのかを知る
	14:20-14:30	休憩		
	14:30-14:45	JICA海外協力隊の取り組み	JICA筑波	JICA海外協力隊事業の目的・応募方法等を知る
	14:45-16:15	JICA海外協力隊経験者との対話と交流	元JICA海外協力隊員	JICA海外協力隊の活動や帰国後の進路等を知る

場所	時間	テーマ	講師等	ねらい
JICA筑波	09:30-10:00	対面アイスブレイク・前日の振り返り	GLMi	●参加者がさらに互いの背景や関心を把握する ●獲得した知識などを整理し、新たな学びに備える
	10:00-13:00	PCM（プロジェクト・サイクル・マネジメント）「計画・立案」体験研修①（途中 休憩10分程度）	開発コンサルタント	●PCMに対する理解を確保する ●PDM全体の読み方とPOの重要性を理解する ●問題分析の手順・留意点を理解する ●目的分析の手順・留意点を理解する ※PCM手法の要点を体験的に学びます（以下同）
	13:00-14:00	昼休憩		
	14:00-16:00	PCM「計画・立案」体験研修②（途中 休憩10分程度）	同上	●プロジェクト選択の手順・留意点を理解する ●PDM要約・投入の手順・留意点を理解する
	16:00-17:00	プロジェクト案の共有・発表（作成したプロジェクトの要約と投入）	同上	●国際協力プロジェクト立案のイメージを獲得する

場所	時間	テーマ	講師等	ねらい
JICA筑波	09:30-10:00	前日の振り返り・シェアリング	GLMi	獲得した知識などを整理し、新たな学びに備える
	10:00-11:30	プロジェクトのモニタリング体験ワークショップ	開発コンサルタント	プロジェクト現場で直面する業務・活動上の課題、原因の探り方の一例を知り、解決策を検討するイメージを獲得する
	11:30-11:45	休憩		
	11:45-12:30	JICAつくば地球ひろば「世界の食と農」見学	JICA筑波	●体験型展示・JICAつくば地球ひろばを見学し、JICAや国際協力について学ぶ
	12:30-14:00	途上国から学びに来ている研修員とのランチ交流会	JICA研修員（JICA筑波の研修コースの研修員）	●研修員の出身国や本人の業務・研究について知る ●研修員と意見を交換する・交流する
	14:00-15:30	未来を描くキャリア相談会	JICA職員、開発コンサルタント、NGO職員等	●国際協力分野の仕事の種類や必要な能力・経験・スキル、キャリアパスの例等を知る ●キャリアについて相談する機会を得る
	15:30-15:40	休憩		
	15:40-16:40	最終の振り返り・シェアリング（学びと将来像）	GLMi	講座で得た学びと将来に向けた意識を他の参加者と共有し、今後に向けてのモチベーションとヒントを得る。 ●講座全体を通じて、どのような学びを得たか。 ●講座での経験をどのように活用しようと考えているか。 ●将来、自分自身はどのようにありたいか。
	16:40-17:00	閉会の言葉 事務連絡・アンケート回答	JICA筑波 GLMi	

## 3. 留意事項

- ・国際協力に関する基礎的な知識を得ると共に、国際協力の実務について学べる内容です。
- ・ディスカッション、ワークショップなど参加型のセッションでは、積極的に参加する姿勢を求めます。
- ・構成の順番や詳細、テーマ名、講師などは上記から変更になる可能性があります。
- ・原則、全日程の出席が必要となります。
- ・1～3日目は、オンライン・対面いずれかの出席方法を選べます。ただし、対面参加の希望者数が一定数に達しない場合は、オンライン開催のみとなりうることを予めご了承ください。出席方法は、参加決定後におたずねします。
- ・発熱、咳、咽頭痛、息苦しさ、味覚・嗅覚異常などの症状がある、体調がすぐれない、強い疲労感や倦怠感がある場合は、参加をご遠慮ください。
- ・対面参加の日は、終了後に参加者間などで交流することも可能ですので、公共交通機関の状況も踏まえて、時間の余裕を確保してください。

## 4. 学生さんへ一言

将来、国際協力に関わりたい、グローバルな環境で仕事がしたい、社会に貢献できるキャリアを重視したいなど、積極的な学生の参加を歓迎します。授業で学ぶ国際協力以外にも現場レベルでの国際協力の取り組みについて学びたいと考える人にお勧めです。